

授業の具体的展開例

T では、みなさん一人一人が読んで考えたことを話し合います。う。まず、星野さんの思いについて、どの言葉や文で、どのようなことを感じたかについて話してください。ノートに整理したことをもとに発言しましょう。

C1 わたしは、「トウヒの種子たち」や「育てたのです。」というように植物を人間のように言っていることから、星野さんが植物に対して親しみを持っていると感じました。

T なるほど、森の木々を人間のように感じているということですね。ほかに、このところで、話したい人はいますか。

C2 はい。「年老いて」や「幸運な」「もらいながら」という表現も、人間のような表現だと思います。星野さんが、どんどん自然に近づいているみたいですね。

C3 「昔、一本のトウヒの木が年老いてたおれました。」という書き方も、星野さんが想像したことを、木を主人公にして昔話みたいに話しているように感じました。

T そうですね。このような表現方法を「擬人法」といいます。皆さんが文章を書くときにも使えそうですね。では、他の話題に移りましょう。

C1 はい。わたしは、「もりのこわさは、すっかり消えています。」について考えました。……

板書例

読書の世界を深めよう

「森へ」 星野 道夫

星野さんの思いや森の様子がよくわかる表現について、自分の考えをまとめよう。

読んで、考えを整理する

星野さんの思い・場面の様子
言葉や自分の考えをメモする
発言を簡潔書きのよう

話し合って、考えを深める

☆根拠となる表現 ☆よくわかる言葉・表現

- 「種子たち」「音」などです。「…人間のような表現
- 親しみ ○自然に近づく
- 「すっかり消える」

書いて、考えをまとめる

- ① 100字程度で書く
- ② 読み返し・書き加え
- ③ 読みたい・アドバースグループ

学習のまとめ

☆ 読書の楽しさを伝えよう